

3600人の正社員が答えた「冬のボーナス」実態。 支給額は減少予想が20%で、増加予想を上回る。

— 『エン転職』ユーザーアンケート調査 結果発表 —

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）が運営する「入社後」までを見据えた日本最大級の総合求人・転職支援サービス『エン転職』（<https://employment.en-japan.com/>）上で、ユーザーを対象に「冬のボーナス」についてアンケートを実施。本発表では、現在正社員として勤務する3,682名の回答を抜粋しました。以下、概要をご報告します。

調査結果 概要

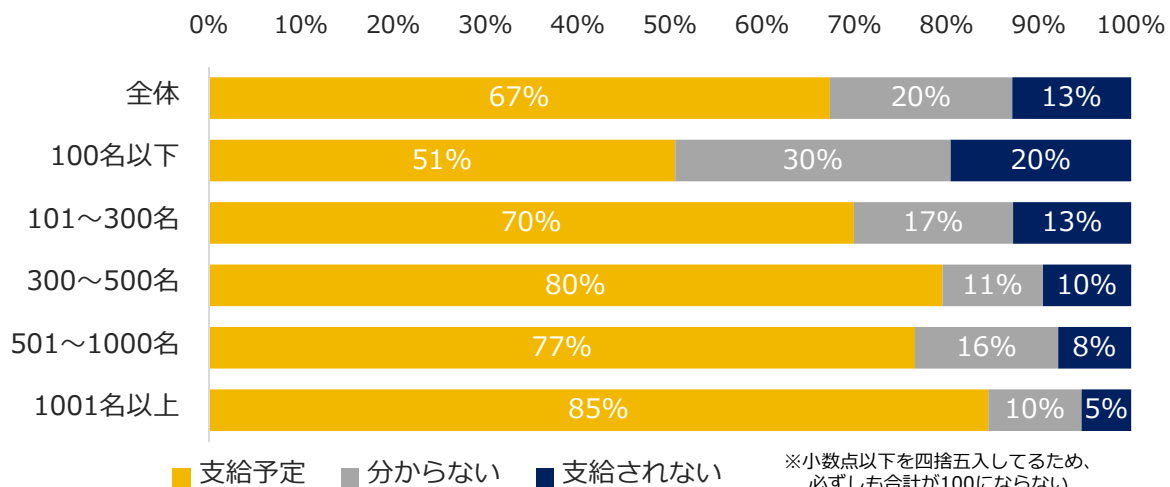
- ★ 冬のボーナスは7割の正社員が支給予定と回答。
- ★ 冬のボーナス支給額、半数の方は「20～49万円」と回答。支給額が高い業種は、メーカーやIT。
- ★ 昨年と比較した支給額は、20%の方が減少予想で増加予想を上回る。
- ★ ボーナスの使いみちトップ3は、貯金、生活費、買い物。

■ 調査結果 詳細

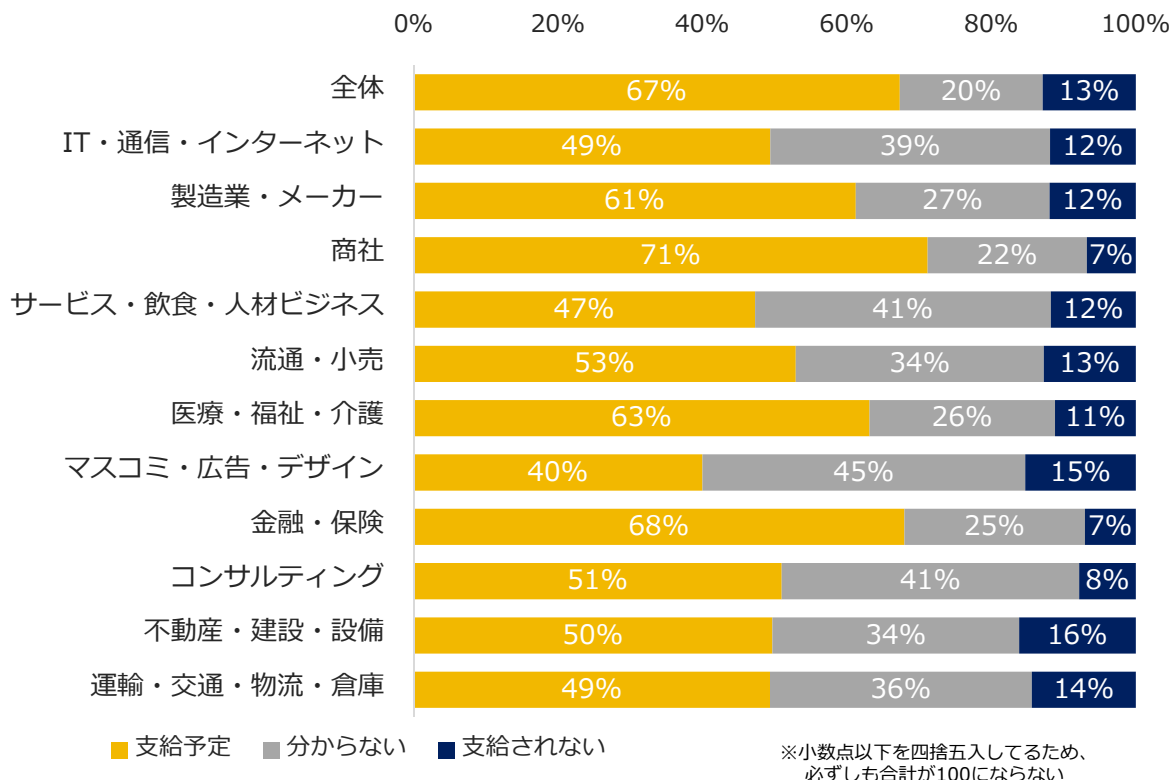
1：冬のボーナスは7割の正社員が支給予定と回答。（図1-a・図1-b）

正社員として勤務している方に「今年の冬のボーナスは支給予定ですか？」と質問をしたところ、67%の方が「支給予定」と回答しました。企業規模が大きくなるほど支給率は上がる傾向が見られ、「1001名以上」の企業に在籍する方は85%が「支給予定」のようです。業種別の支給率は、第1位が「商社」（71%）、第2位が「金融・保険」（68%）、第3位が「医療・福祉・介護」（63%）でした。

【図1-a】今年の冬のボーナスは支給予定ですか？（企業規模別）



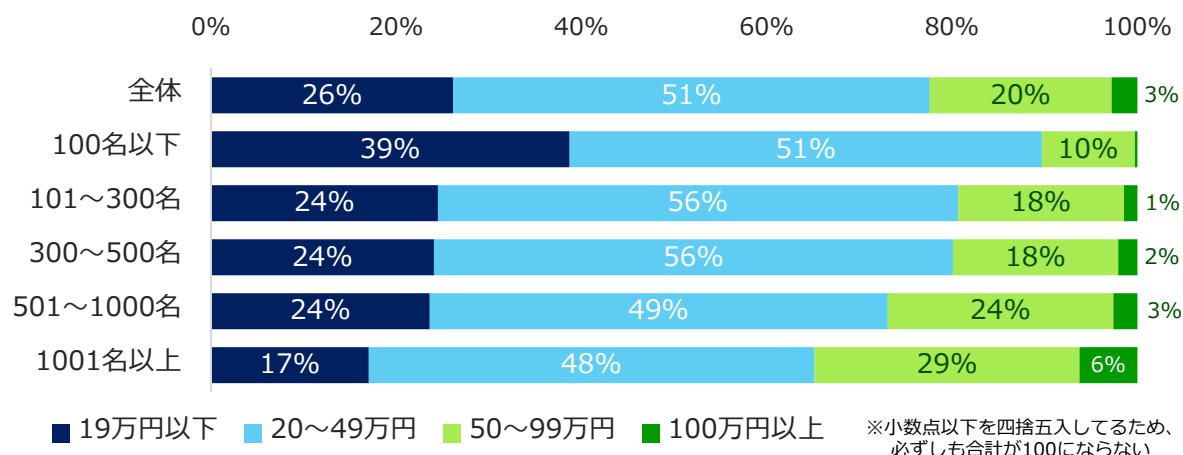
【図1-b】 今年の冬のボーナスは支給予定ですか？（業種別）



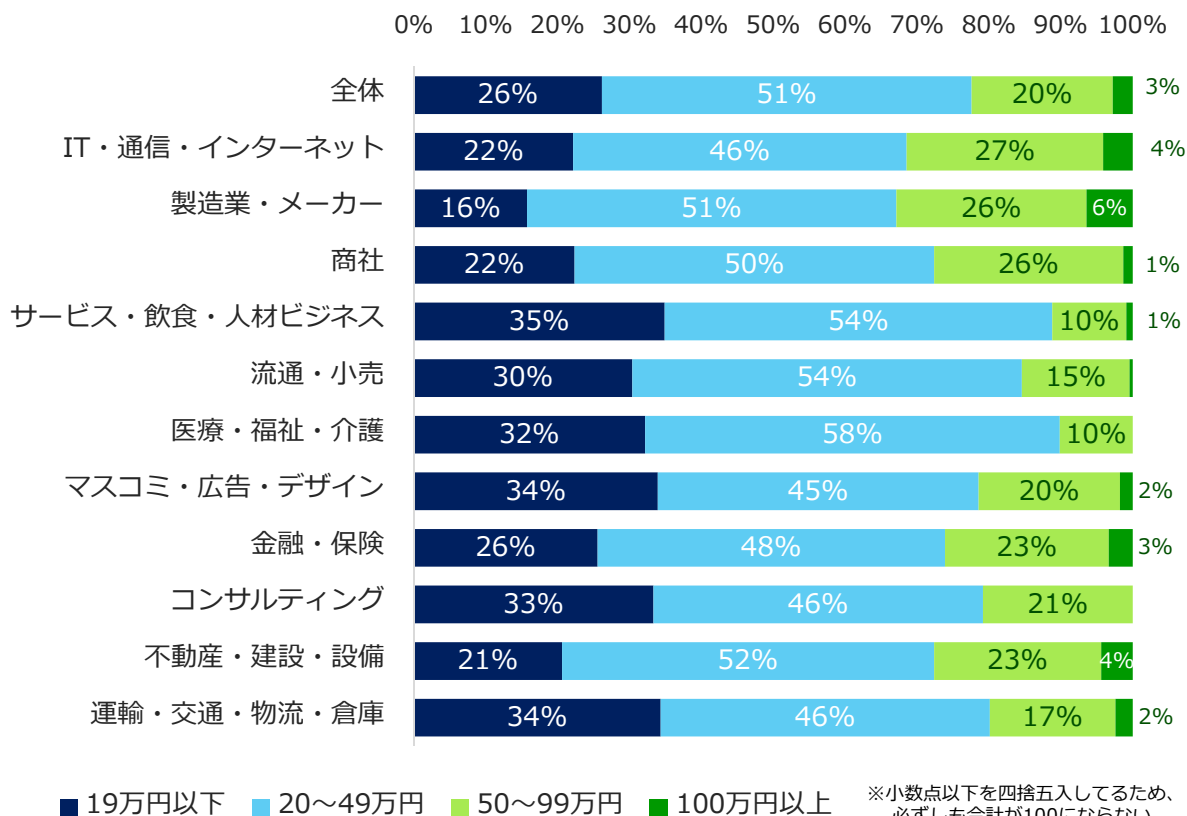
2：冬のボーナス支給額、半数の方は「20～49万円」と回答。支給額が高い業種は、メーカーや IT。（図2-a・図2-b）

冬のボーナス支給額の最多回答は「20～49万円」（51%）でした。「50万円以上（50～99万円、100万円以上）」は、23%です。支給額も企業規模と比例して高くなる傾向が見受けられます。「50万円以上」の回答が全体より5ポイント以上高い業種は、「製造業・メーカー」（32%）、「IT・通信・インターネット」（31%）でした。

【図2-a】 冬のボーナスが支給される方に伺います。今年の支給額はだいたいどのくらいになりそうですか？（企業規模別）



【図2-b】 冬のボーナスが支給される方に伺います。
 今年の支給額はだいたいどのくらいになりそうですか？（業種別）



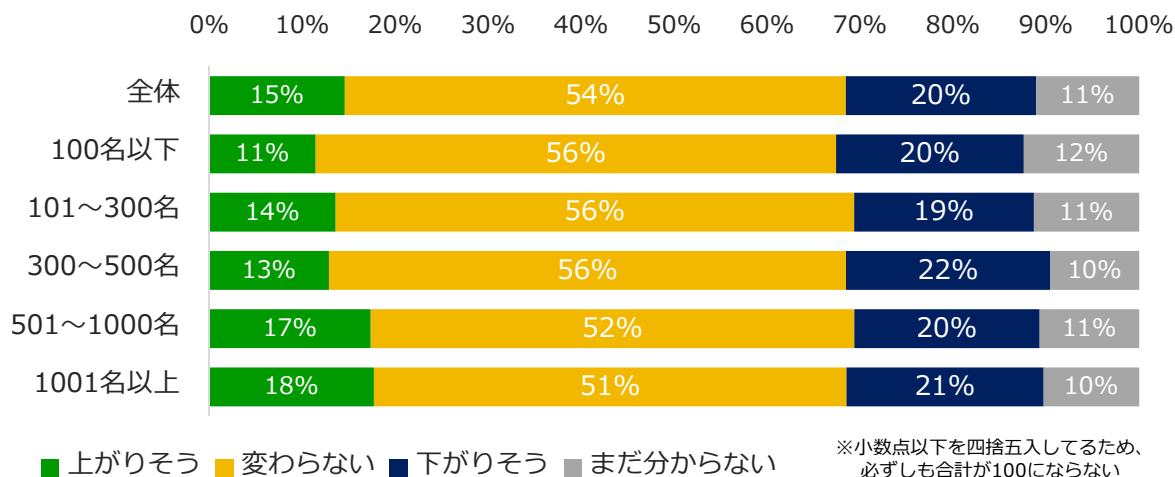
3：昨年と比較した支給額は、20%の方が減少予想で増加予想を上回る。 （図3-a・図3-b・図4）

「昨年と比較した支給額」を質問しました。「上がりそう」の回答は15%に留まり、「下がりそう」（20%）が上回りました。規模・業種別でも、すべてにおいて「下がりそう」が「上がりそう」を上回る結果でした。「上がりそう」と回答した方が所属する業種のトップ3は、「商社」（20%）、「不動産・建設・設備」（19%）、「製造業・メーカー」「金融・保険」（16%）。「下がりそう」の回答がもっとも多かったのは「流通・小売」（28%）の方でした。

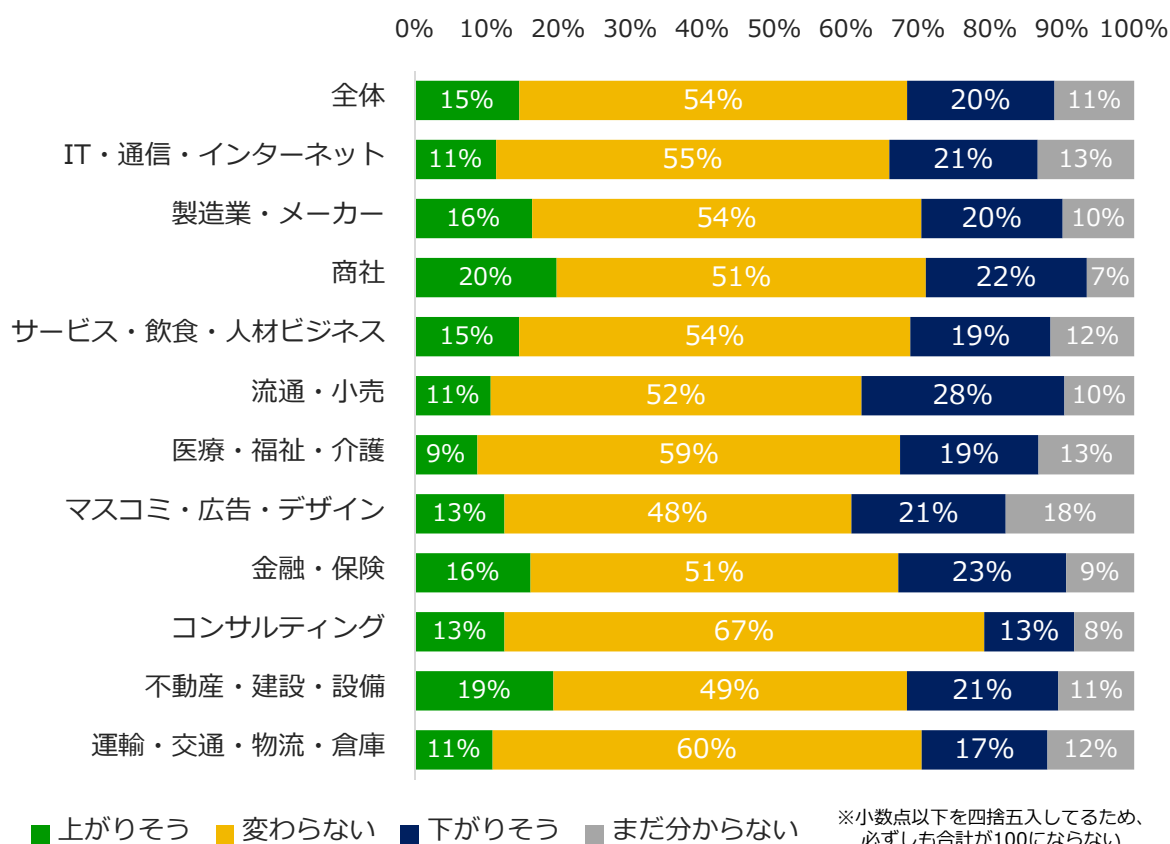
「上がりそう」と回答した方に、上がる理由を伺いました。全体では「ベースアップのため」（33%）「個人としての成果が高いため」（31%）「企業の業績が良いため」（30%）が横並びになりましたが、こちらも業種別に違いが見受けられます。

「上がりそう」で第1位の「商社」は53%と半数以上の方が「個人としての成果が高いため」と回答。第2位の「不動産・建設・設備」は「企業の業績が良いため」（43%）が最多回答でした。第3位の「製造業・メーカー」も「企業の業績が良いため」（48%）がトップ、「金融・保険」は「個人としての業績が良いため」（31%）が最多回答になりました。待遇改善が呼びかけられる「医療・福祉・介護」は68%の方が「ベースアップのため」ボーナスが上がりそうと回答しています。

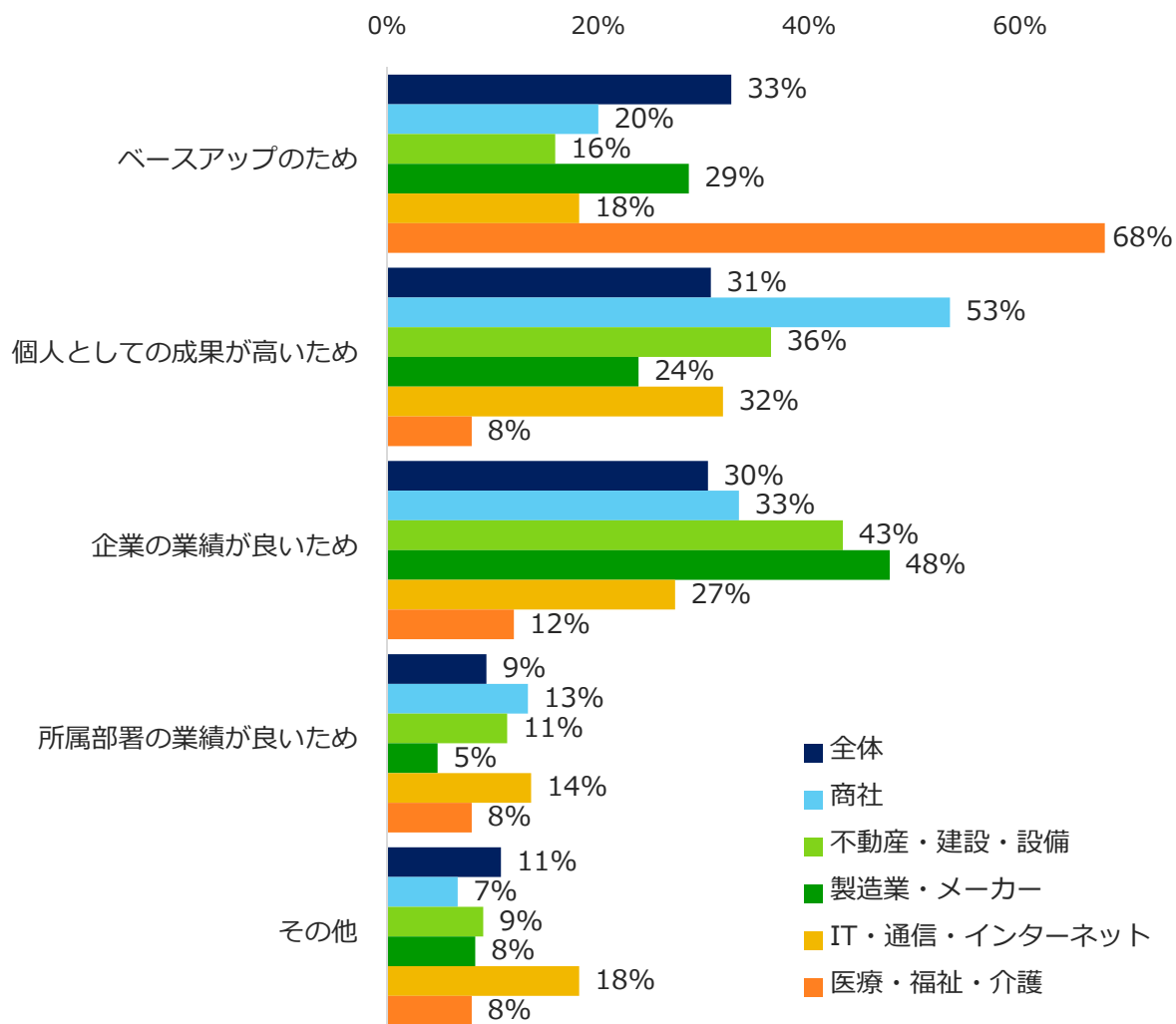
【図3-a】冬のボーナスが支給される方に伺います。
今年のボーナスは昨年と比較して上がりそうですか？（企業規模別）



【図3-b】冬のボーナスが支給される方に伺います。
今年のボーナスは昨年と比較して上がりそうですか？（業種別）



【図4】 冬のボーナスは昨年と比較して上がりそうと回答した方に伺います。その理由を教えてください。（業種別）

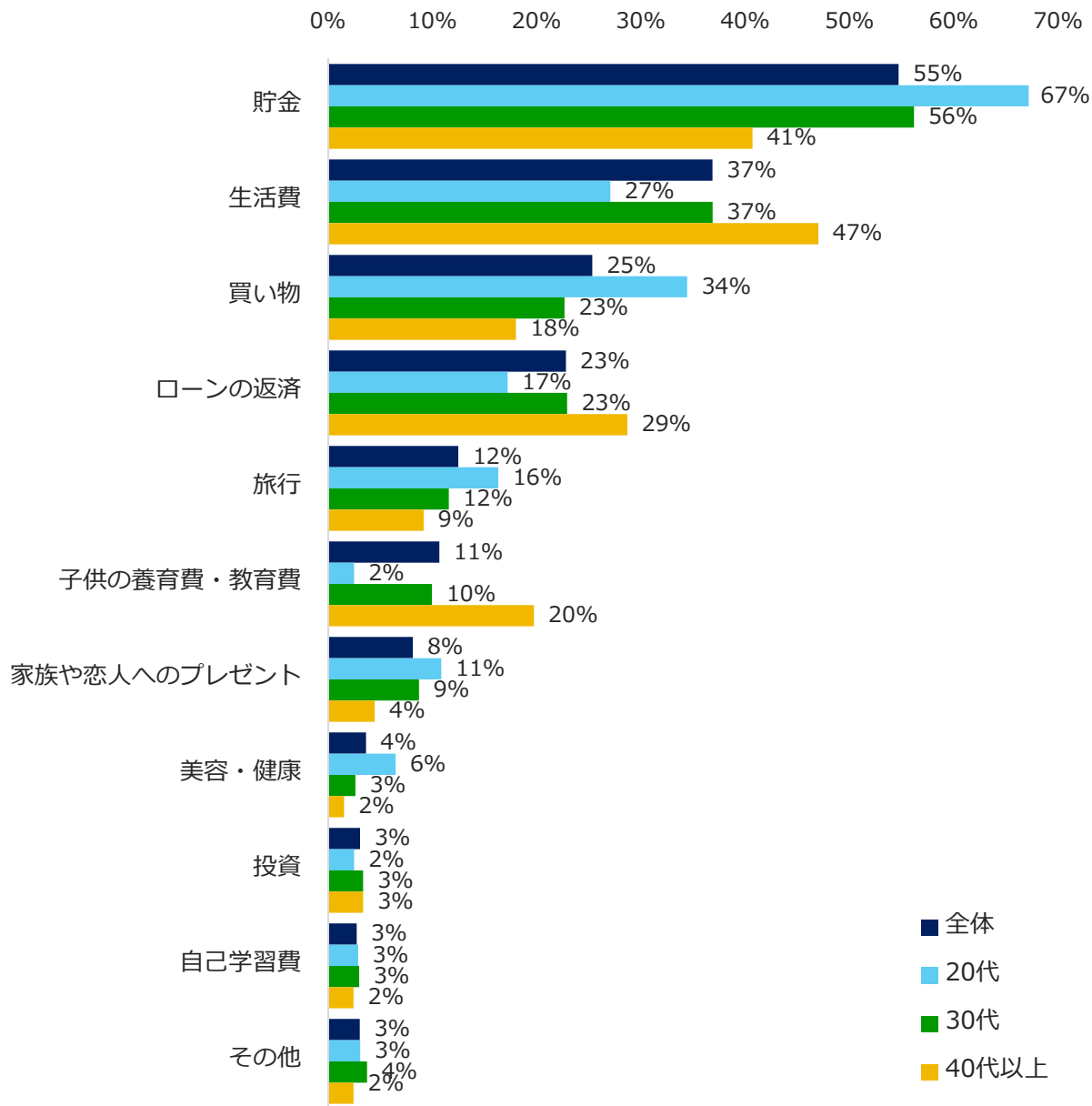


4 : ボーナスの使いみちトップ3は、貯金、生活費、買い物。（図5）

「ボーナスの使い道」を伺うと、第1位「貯金」（55%）、第2位「生活費」（37%）、第3位「買い物」（25%）という結果になりました。

用途は年代別に違いが見受けられ、20代は第1位の「貯金」が67%と20代で第2位の「買い物」（34%）を大幅に上回りました。貯金の回答が圧倒的多数を占めたものの、20代は他年代と比べて「買い物」（34%）「旅行」（16%）「美容・健康」（6%）といった消費行動に使用する傾向があるようです。40代は「貯金」（41%）の比率がぐっと下がり、第1位は「生活費」（47%）が逆転します。「ローンの返済」（29%）や「子どもの養育費・教育費」（20%）の回答比率も上昇しました。

【図5】冬のボーナスが支給されると回答した方に伺います。今年のボーナスの使いみちを教えてください。



【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査期間：2017年11月1日～11月30日
- 調査対象：『エン転職』（<https://employment.en-japan.com/>）利用者
- 有効回答数：現在正社員で勤務する3,682名

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本、松田 <https://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
 TEL：03-3342-6590 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com